

身体拘束適正化委員会 点検・記録シート v2

介護施設・事業所向け | 委員会・指針・研修・個別記録をA4 1枚で確認

基本情報

施設・事業所名		点検日	年 月 日		
サービス種別	☐ 特養 ☐ 老健 ☐ 短期入所 ☐ 小規模多機能 ☐ 看護小規模多機能 ☐ その他（ ）				
委員会名		記入者		次回予定	月 日

1 | 体制整備チェック（まず4項目）

区分	確認すること	チェック
委員会	対象サービスでは3か月に1回以上の開催を確認し、検討結果を職員へ周知する	☐ 開催 ☐ 議事録 ☐ 周知
指針	身体拘束等の適正化のための指針を整備し、最新版を職員が参照できる	☐ 現行版 ☐ 周知 ☐ 改訂履歴
研修	対象サービスの基準・解釈通知に沿って定期的に実施し、内容と受講者を記録する	☐ 計画 ☐ 実施 ☐ 参加記録
個別記録	身体拘束実施時に態様・時間、心身の状況、緊急やむを得ない理由等を記録する	☐ 様式あり ☐ 記録確認

重要：身体拘束を実施していない時期でも、対象サービスに必要な適正化措置が未実施の場合は身体拘束廃止未実施減算の対象となります。

2 | 委員会・議事録チェック（「報告」から「決定」へ）

☐	開催情報	開催日・出席者・議題を記録
☐	実施状況	実施人数・態様・前回からの変化を確認
☐	三要件	切迫性・非代替性・一時性の根拠を事例ごとに確認
☐	解除・再評価	代替策、解除・緩和条件、再評価結果を確認
☐	改善ToDo	改善策・担当・期限・次回確認を決定
☐	職員周知	委員会の検討結果をどの方法で周知したか記録

3 | 身体拘束実施時の個別記録チェック

基準上の記録・三要件の根拠	解除・最小化を進める実務上の記録
☐ 態様・時間 何を、いつから、どのように実施したか	☐ 代替策 試した方法・結果・今後試す方法
☐ 心身の状況 実施判断時の具体的な状態	☐ 解除・緩和条件 何が整えば解除または緩和できるか
☐ 緊急やむを得ない理由	☐ 再評価 いつ・誰が・何を確認し、結果をどう追記したか
☐ 切迫性 ☐ 非代替性 ☐ 一時性 3要件それぞれの具体的根拠	☐ 本人・家族等への説明内容・意向 施設内の記録ルールに沿って記載

4 | 改善ToDo（次回委員会で確認）

課題・改善内容	対応	担当	期限	次回確認

使い方：1の4項目を点検 → NG項目を2・3で具体化 → 4に担当・期限・次回確認を記入。減算率・研修回数・対象範囲はサービス種別ごとの最新基準・解釈通知を確認してください。

参考：厚生労働省「令和6年度介護報酬改定における改定事項について」/ 介護保険最新情報 Vol.1345 / 「介護施設・事業所等で働く方々への身体拘束廃止・防止の手引き」（令和7年3月）